

# 北檜山ラウドネスが全国大会へ



試合前のミーティング

7月24日(木)、東京都江戸川区で行われたIBA-boys第32回全国ブロック大会にせたな町の少年野球チーム「北檜山ラウドネス」が出場しました。昨年、予選を突破し、ついに夢の大舞台。会場には「東京せたな会」の皆さん(約20人)が応援のぼりを持参し駆け付けるなど、大きな声援のなか1回戦で京都代表チームと対戦。試合は1点差に追い上げた終盤で守りのミスが重なり、残念ながら4-8と初戦突破はなりませんでした。北海道代表として、最後まであきらめず堂々と戦いました。

また、7月19日(土)に出場した高円宮賜杯 第34回 全日本学童軟式野球 南北海道大会では、1回戦で新十津川と対戦し2-12で残念ながら1回戦敗退。そして、8月5日(火)には、2014FIGHTERSジュニア王座決定戦へ出場。1回戦は6-5で美幌に勝利し、2回戦は6-7と釧路市芦野に惜敗。過密スケジュールのなか、大舞台で子どもたちもよく頑張りました。



全国大会会場での集合写真



開会式で入場する北檜山ラウドネス



全道大会に出場した大成ベアーズ

# 大成ベアーズが全道大会へ

7月26日(土)、旭川市で行われたスタルヒン杯争奪第35回全道スポーツ少年団軟式野球交流大会に出場した大成ベアーズは、1回戦で白老と対戦。11安打を打ち、常にリードを守るゲーム展開で6-5の勝利。見事初戦突破を果たしました。

雨による順延で29日(火)に行われた準々決勝は千歳と対戦。先制するも中盤で逆転を許す苦しい展開。再度逆転するも最後にまた逆転され、結果4-5と悔しい敗戦となりましたが、子どもたちは粘り強い戦いを見せてくれました。

# 村本くん(瀬小5年) 早坂くん(玉小4年) 空手道の全国大会へ

8月2日(土)、3日(日)に宮城県で開催された空手道全国大会に瀬棚小学校5年 村本健太郎くんと玉川小学校4年 早坂陸久くんが出場しました。

2人は隣町の今金空手少年団(団員数15人)に所属し、経験年数はともに4年。週2回の練習で技に磨きをかけ、4月に八雲町で開催された全道空手道選手権(全国予選会)では、個人種目の「型部門」で村本くんが1位、早坂くんが2位という見事な成績(昨年は予選敗退)で初めての全国大会出場を決めました。(3位までが全国大会出場)

出場した全国大会では、2人とも見事1回戦を勝ち抜きましたが、2回戦で惜しくも敗退。一つでも多く勝ち上がりたいと決意を語っていた2人には目標の1勝を達成することができ、いい経験となったようです。



村本くん 早坂くん



文部科学大臣杯  
第57回小学生・中学生全国空手道選手権大会  
兼船越義珍杯第13回少年世界空手道選手権大会予選会  
主催/公益社団法人日本空手協会 主審/日本空手協会宮城県本部





長尾 徹道 (ながお てつどう)

profile

1975 (昭和50) 年5月生まれ。(39歳) 独身。東京都板橋区出身。1994 (平成6) 年ホテルニューオータニ東京入社。7年の在籍中、迎賓館国賓接遇チーム選抜に2度選出されるなど、ホテル職全般の業務について研鑽を積む。2000 (平成12) 年から(株)オリエンタルランドに入社し、日本で初めてとなる3つのディズニー直営ホテルの同時開業準備室に勤務。ホテルの建設計画やアトラクション開発を兼務しながら営業企画、プライダグム、セールスの各アシスタントマネージャー職を担当し、2004 (平成16) 年度、26,000人の全キャストから選出されるベストオブマジカルキャスト (年間最優秀キャスト賞) を受賞。その後、後進の育成と自分を育ててくれたホテル・エンターテイメント業界への貢献を使命と志し、2007 (平成19) 年から、新潟、東京の短大・専門学校で学科長を歴任。2010 (平成22) 年、日本郵船(株)に入社し国内最大のクルーズ客船「飛鳥II」の就航20周年記念事業責任者として、国内客船初の世界一周航海婚礼「飛鳥ウエディング」の開発に携わる。その後、2011 (平成23) 年3月から長野県のホテルブエナビスタにて広報・企画・人材開発の初代支配人として経営改善に貢献。2013 (平成25) 年4月には、(株)堂島ビルディングホテル事業部の新規事業開発室長に着任し、同年6月から出向派遣となった琉球温泉瀬長島ホテルの経営改善に貢献。2014 (平成26) 年3月、家庭の事情により退社するも同年7月、地域おこし協力隊の募集を知り、応募。8月採用となり現在に至る。



地域おこし協力隊員 長尾さん

●せたな町初の地域おこし協力隊員 長尾徹道さん

# ゲスト目線を大切にしたい 笑顔があふれるホテルにしたい

8月4日(月)、せたな町で初となる地域おこし協力隊員として委嘱された長尾徹道さん。大手ホテルでの勤務や短大・専門学校で後進の指導、そして、経営不振のホテルの経営改善などに携わってきた経験を活かし、このたび、温泉ホテルきたひやまの経営企画室室長として、経営状態の見直しと、サービスオリティの向上に取り組みます。(委嘱は来年3月までの契約で最長3年間の延長可)

転職が多くて履歴書は一見不安がられますが、常に自分をステツプアップさせてきた結果こうなりました。(笑) と言うほど、数々の経歴を持つ長尾さん。そのなかでも一番は、東京、ディズニーランドを運営するオリエンタルランドでの経験。そこで学んだゲスト目線のサービスやおもてなしの心が、自身の経験でも大きかったと言います。そこで、ベストオブマジカルキャスト (年間最優秀キャスト賞) を受賞したことを機に、後進への指導に強く想いを抱くようになり、指導者としての道へ進みます。

こうして、短大や専門学校で指導に励む一方、長尾さんは、自身がまた経験したことのない海上ホテルでの勤務を熱望し、クルーズ客船「飛鳥II」の就航20周年事業責任者として1

年間、船で世界を巡ることに。それも、自身のキャリアアップのためだったと言います。

1年間の航海後は、経営不振を抱える数々のホテルでの経営改善を担当し、スタッフの能力開発や黒字化に貢献。しかし、リストラの決断や資金不足などの苦労もたくさんあったと長尾さん。

そして、今年3月、実家の事情もあって退社し、東京へ帰省中、知り合いから温泉ホテル(地域おこし協力隊員募集)の話聞き、強い「縁」を感じ、今回の応募となったそうです。

温泉ホテルをゲスト目線を大切にしたい、笑顔があふれるホテルにしたいと語る長尾さん。着任して早々、実際に1週間ホテルに泊り込み、ゲスト目線でスタッフのサービスやさまざまな点を分析。それを基に、現在はスタッフの面談・研修を進めて



長尾さんが受賞した2004年度ベストオブマジカルキャストの記念楯

地域おこし協力隊

地域づくりに意欲的な都市部の若者を受入れ、隊員として委嘱し、主に農林水産業の応援や集落対策などの地域協力活動に従事してもらいながら、定着・定住を図る制度。平成21年度に総務省が制度導入、全国318市町村978人、全道58市町村で168人(平成25年度現在)が活躍しており、ホテルの経営改善やスタッフの教育という分野の取り組みは、町として新しい可能性を開拓。

いるそうで、良いところを伸ばしながら、見えてきた課題や問題点をスタッフと共に改善し、サービスの向上を目指したいと意気込みます。

そんな長尾さん。15歳に始めたバンドのボーカルとして今でも、毎年ライブに出演しているという一面も。主にミスチルやサザンの楽曲を演奏しているとのこと。また、高校野球が大好きで、甲子園はもちろん時間があれば地方大会も観戦するほどのマニアぶり。自身も野球経験者で、機会があれば、せたな町でも草野球に参加してみたいそうです。

ディズニーランドの開業20周年、飛鳥IIの就航20周年、経営改善で赴任したホテルでも開業20周年と、アニバーサリーに携わる縁があるんですよと長尾さん。そして、本人がすぐく縁を感じたという温泉ホテルも来年で開業20周年を迎えます。

